

# 感染予防対策のABC

春になりました。感染予防対策の基本「標準予防策」でスタートしましょう。

**「標準予防策」**って？ ⇒ 感染症の有無に関わらず、全ての患者の血液、汗以外の体液、傷のある皮膚、粘膜を全て感染性があるものとして扱うことです。



これらのものに接触するときは、マスク、手袋、エプロン、ガウン等の予防具を用い、処置の前後に手洗い、手指消毒を行います。

## 感染管理認定看護師からのワンポイント★アドバイス

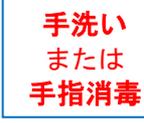
今回は標準予防策の予防具から「手袋」を取り上げます。  
毎日使う手袋ですが、こんな使い方をしていませんか？

- × いつでも使えるように、手袋をポケットに入れている。  
⇒ ポケットは汚染されています！  
○ 使用直前に箱から取り出しましょう。
- × 手袋のまま手洗いやアルコール消毒をして次のケアに移る。  
⇒ 一度使用した手袋は、ピンホール（微細な穴）ができてやすく手袋の役割が果たせません！  
○ 使用したら適切に捨てましょう。

手袋は、感染源から自分を守るものであると同時に、患者や物品を守るものでもあります。適切に使用しましょう。  
誤った使用法で感染が拡大することもあり、注意が必要です。

※予防具を着脱する際、手袋は**最後につけ、最初に外**します。  
その場合も、汚れを拡げない外し方が重要です。  
右の図を参考に練習しておきましょう。

### 【手袋の外し方のポイント】

-  1. 手袋の袖口外側から3 cmくらいのところをつまむ。
-  2. 中表になるように外し、手袋をしている手で外した手袋を丸めて持つ。
-  3. 手袋を外した手を、手袋の内側から入れ、
-  4. 中表になるように外す。
-  5. 手指衛生を忘れずに！  
☆手袋にピンホール（微細な穴）ができていたり、手袋を外す際に汚染されたりするため。

**手洗い  
または  
手指消毒**

(公立丹南病院感染管理室 馬場みゆき室長)

### 【丹南健康福祉センターからのお知らせ】

野外に出る機会の増える春は、ツツガムシや重症熱性血小板減少症候群を媒介するマダニ類が活動を始める季節でもあります。丹南管内にもこれらの虫はいます。草むらなどでは肌を露出しないよう注意し、咬まれた場合は自分で処置せず、医療機関を受診しましょう。

### 【担当課】 ご意見・ご要望はこちらへ↓

福井県丹南健康福祉センター 地域保健課  
Tel (0778) 51-0034 Fax (0778) 51-7804  
E-mail t-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp  
配信希望（停止）はメールでご連絡ください。